

令和4年度 設備設計1級建築士 短期合格必勝コース【日曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（令和4年） 講習時間 8.0h（法適合確認：4.0h＋設計製図4.0h）

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	随時視聴可	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習 ＋ 各項目の最後に演習テストで、理解度を確認 ＋ 演習テスト解説講義で出題のポイ	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備		電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
5		1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノートをもとに、記述、作図のスピードアップのポイントを学習 ＋ 記述、作図のワーク	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	
6		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
7		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
8		1.0h	設計製図4	電気設備		単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●設備設計1級建築士短期合格必勝コース（令和4年） 講習時間 48.0h（法適合確認22.0h＋設計製図26.0h）

問題集解説講義（法適合確認）

－	修了考査まで繰り返し学習	6.0h	法適合確認	過年度本試験問題	本試験問題を年度ごとに解説	本試験問題の理解度の向上を図る	－
---	--------------	------	-------	----------	---------------	-----------------	---

作図手書き映像（設計製図）

－	修了考査まで繰り返し学習	2.0h	設計製図	各設備 ^{※2} の系統図（単線結線図）・平面図	実際に本試験形式の図面を作図	実際の作図映像を視聴し、具体的な作図手順・方法を学習する 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]	－
---	--------------	------	------	-----------------------------------	----------------	---	---

1	7/17(日)	4.0h	法適合確認1	答練(空調・換気設備) 答練(給排水衛生設備)	オリジナル答練問題を用いて、項目ごとに問題演習 ＋ 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実戦形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削
2	7/24(日)	4.0h	法適合確認2	答練(電気設備) 答練(輸送設備)		制限時間を設けて実戦形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
3	7/31(日)	6.0h	設計製図1	答練(課題文の読み取り方法) 答練(必須問題対策)	オリジナル答練問題を用いて問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイント、計算手順、作図手順を理解	実戦形式で課題文の読み取り方法を学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削
4	8/7(日)	6.0h	設計製図2	答練(選択問題対策) ^{※2}		制限時間を設けて実戦形式で選択問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]	
5	9/11(日)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認3 設計製図3	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削 ＋ 宿題課題の添削
6	9/25(日)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認4 設計製図4	模擬考査2	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイントを最終確認	当年度講習会テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、直前期に確認すべきチェック箇所について最終確認を行う	模擬考査の添削

※1 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

※2 空調・換気/給排水衛生/電気[選択可]

8月下旬～9月中旬（連続する3日間）
（公財）建築技術教育普及センター講習受講

10月下旬(予定)
設備設計1級建築士講習 修了考査